

教科書：最新高等保健体育（大修館書店）

副教材：なし

学習目標

本校の体育科の目標

- 1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- 2 自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、構成、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。
- 3 健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

第5学年の目標

- 1 授業規律や注意事項のみならず、学習全体において自律的精神を向上させる。
- 2 自主的な活動を通して運動を楽しみ、必要な体力と知識及び技能を身につけさせる。
- 3 様々な生徒にあらゆる活動のリーダーを経験させ、その能力を育成する。

学習方法

- 授業の流れ
- (1) 出席番号順に4列横隊に並び、出欠確認、本時の説明。
 - (2) 体育係が指示をし、準備運動。
 - (3) 本時の目的に沿って、グループごとに練習を進める。
 - (4) 時間に応じて記録や発表、試合を行っていく。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 技能（運動）	運動を通して、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうことができる。			
観点② 態度	公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保することができる。			
観点③ 知識、思考・判断	各領域に応じて技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる。			
	評価の方法\観点	①	②	③
	授業観察	○	○	○
	練習の計画・工夫（ノート）		○	◎
	試合・記録会・発表・実技テスト	◎	○	

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・各種目の特性を理解し、個人技術を習得し、集団での動き、作戦を立て、最終的には成果がわかるように、タイム測定や発表、ゲームが出来るようになる。 ・種目の特性を理解し個人技術の向上と集団的な動きを理解して最終的にルールを理解して、ゲームが出来るようになる。 ・ストローク・キックなど動きの基本を身に付ける。	《ソフトボール》 男子 個人・集団技能 試合 審判法 《テニス》 男子 個人・集団技能 試合 審判法 《ソフトボール》 女子 個人・集団技能 試合 審判法 《バドミントン》 女子 個人・集団技能 試合 審判法 《水泳》 男・女 ・バタフライ・背泳ぎ・平泳ぎ	
2 学 期	・自己の記録の向上のための工夫し、タイム測定を行う。 ・各種目の特性を理解し、個人技術を習得し、集団での動き、作戦を立て、最終的にルールを理解して、ゲームが出来るようになる。 ・種目の特性を理解し個人技術の向上と集団的な動きを理解して協力して取り組み発表を行い自己評価する。	《水泳》 男・女 ・バタフライ、背泳ぎ タイム計測 《バスケットボール》 男子 個人・集団技能 試合 審判法 《バドミントン》 男子 個人・集団技能 試合 審判法 《サッカー》 男子 個人・集団技能 試合 審判法 《テニス》 女子 個人・集団技能 試合 審判法 《創作ダンス》 女子 創作発表	
3 学 期	・克服種目として、自己ベストを目標に努力する。 ・観戦する、支える、支援するなどスポーツの関わり方を学ぶ。 ・生涯スポーツとして主体的に運動に親しむ能力を身につける。	《陸上競技》 男・女 ・持久走・マラソン大会 《体育理論》 男・女 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 《体づくり運動》 6年時選択 オリエンテーション	

学習のアドバイス

- ◇ 運動にふさわしい服装・身だしなみを心がけよう。
- ◇ 授業での約束事を知って、進んで取り組もう。
- ◇ 友だちと協力して準備・後片づけ、練習をしよう。
- ◇ 自分や友だちの安全に気をつけて運動しよう。
- ◇ 見通しをもって時間を意識し、目標を見据えた練習計画を立てよう。
- ◇ 上手くできない時は、先生や友達に積極的に聞こう。